

令和2年度水稻作況情報

○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月21日 ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植3本植 ・栽植密度 20.8株/m²(16cm×30cm)
- ・施肥 (N-P₂O₅-K₂O kg/10a)

基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

○気象

・生育期間

9月上旬から10月にかけて平年並か平年よりも高温で推移し、10月の第2、第4、第5半旬で降水量が多く、日照時間が少なかった。

○生育概況

- ・成熟期は、‘キヌヒカリ’で平年より1日、‘きぬむすめ’で平年より2日、‘ヒノヒカリ’で平年より3日早かった。
- ・収量は、‘キヌヒカリ’、‘きぬむすめ’、‘ヒノヒカリ’ともに平年比83～85%と少なかった。穂数は、いずれの品種も平年より少なかった。一穂粒数は、‘キヌヒカリ’で平年並み、‘きぬむすめ’、‘ヒノヒカリ’では平年より多かった。玄米千粒重は、いずれの品種も平年より低く、登熟歩合は、‘キヌヒカリ’では平年よりも低く、‘きぬむすめ’、‘ヒノヒカリ’は平年並みであった。
- ・整粒率は、‘キヌヒカリ’で46.3%と極めて低く、‘きぬむすめ’は76.4%、‘ヒノヒカリ’では65.2%であった。

項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
成熟期 (月/日)	本年値	9月11日	9月23日	10月2日
	平年比(日)	-1	-2	-3
面積あたり穂数 (本/m ²)	本年値	317.2	289.8	291.2
	平年比(%)	92	87	85
一穂粒数 (粒/穂)	本年値	86	101.9	101.5
	平年比(%)	99	104	113
玄米千粒重 (g)	本年値	22.0	21.2	20.9
	平年比(%)	96	92	91
登熟歩合 (%)	本年値	81.6	86.1	83.5
	平年比(%)	96	102	98
精玄米重 (kg/10a)	本年値	489	540	516
	平年比(%)	83	84	85

注) 平年比は、過去7年間のデータのうち、最小値と最大値を除いて平均した数値との比較

出穂期、成熟期の数値の-（マイナス）は「早い」を、+（プラス）は「遅い」を示す

千粒重、精玄米収量は、玄米水分15%換算値

キヌヒカリのデータは、イノシシ被害を受けたため、被害のなかった1反復のデータのみ使用

項目		キヌヒカリ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
整粒(%)	本年値	46.3	76.4	65.2
未熟粒(%)	本年値	45.7	21.5	29.8
被害粒(%)	本年値	6.9	1.9	4.2
死米(%)	本年値	1.0	0.2	0.5
着色粒(%)	本年値	0.2	0.1	0.4

注) 数値は穀粒判別器(静岡製機ES-1000)で測定したもの

